

令和6年度学校経営の基本構想図

【 学 校 教 育 目 標 】		
<p>生きる力を身に付け、自立しようとする新山健児の育成 ～おもいやる子・かんがえる子・きたえる子～</p>		
育 て た い 資 質 ・ 能 力		
気付く力	協働する力	調整する力
身の回りに関心を持ち、そのよさや違い、価値などに気付く力	目的意識を持ち、他者と協働して高め合う力	生活を整え、目的に応じてコントロールする力
自分の周りを見つめる、問いをもつ、課題が分かる、想像力を働かせる、気を配る、自分や周りの人のよさに気付く、多様性のおもしろさや成長を実感する	人と関わり共に考えようとする、多様性を受け入れる、考えを伝え合う、地域や人の役に立つことに喜びを感じる	生活・心・身体を整える、考えや行動等を見直す、粘り強く取り組む、よりよい方法を取り入れようとする

目指す学校像	目指す子ども像	目指す教師像
<p>1 子どもたちが生き生き活動し、成長を実感できる学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人を丸ごと受け入れ寄り添う指導 ・規範意識やマナーを基盤にした子ども主体の教育活動の展開 <p>2 わくわく、分かる授業の研究と実践を大事にする学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の命は授業、授業を大事にする教師集団 ・学校全体に流れる共通実践 <p>3 子ども・保護者・教師が共に満足感をもつことができる学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人が大切にされる集団 ・地域や保護者と共に歩む学校 	<p>1 身の回りに関心を持ち、そのよさや違い、価値などに気付く子ども</p> <p>2 目的意識を持ち、他者と協働して高め合う子ども</p> <p>3 生活を整え、目的に応じてコントロールする子ども</p>	<p>1 子どもの可能性やよさを見付け、子どもに寄り添い支えつなぐ教師</p> <p>2 「分かる」「できる」学習や体験を積み重ね、子どもの自己肯定感を高める教師</p> <p>3 心身共に健康で、豊かな人間性と深い使命感をもって自己を高める教師</p>

経営の重点と主な施策

<p>1 気付く力、協働する力、調整する力の育成</p> <p>(1) 基本的な生活習慣の定着、「気づきの清掃」の推進 (2) 自己指導能力を育てる生徒指導の三機能を生かした指導 (3) 自己有用感を育む係活動、当番活動、児童委員会活動 (4) 一人一人のよさを認める学年・学級づくり</p>	<p>2 学びの自覚(問いを持ち、求めて学ぶ)を支える授業づくりの推進</p> <p>(1) 子どもと共有、更新していく単元プランの構築 (2) 身に付けた資質・能力を子どもが求めて活用する場の設定 (3) 問いを引き出し、考えるすべを進んで用いる学習活動の工夫 (4) 教科等の見方・考え方を働かせた学習活動の工夫</p>
<p>3 学び合い磨き合う学年部体制と同僚性の保持・向上</p> <p>(1) 共通理解に基づいた共通実践(学年部会・学年集会) (2) 共感的な人間関係に支えられた学年・学級づくりの推進 (3) 人事評価・研修履歴を活用した教職員の資質能力の向上 (4) 初期層研修を活用したOJTの充実</p>	<p>4 家庭や地域とともに歩む開かれた学校づくり</p> <p>(1) 積極的な情報発信による家庭・地域との行動連携強化 (2) 学校運営協議会や保護者・地域ボランティアとの協働 (3) 地域社会に開かれた教育課程の推進 (4) 学校評価や保護者アンケートを活用した経営改善の推進</p>

「さわやか新山」 ～あいさついっぱいさわやか新山、しっかり話すさわやか新山、はっきり返事さわやか新山～